



# かがやけ憲法 キャラバンニュース

- ★北海道→青森→岩手→秋田→山形→宮城→福島
- ★山口→広島→島根→鳥取→岡山→香川→愛媛→高知
- ★鹿児島→熊本→長崎→佐賀→福岡→大分→宮崎→兵庫→大阪

## 交戦推進する憲法には反対

### ●11/19 高知(2日目)

高知県2日目のキャラバンは、南国市の早朝宣伝から始まりました。その後、香美市、香南市で宣伝を行い自治体要請に入りました。香美市では9条の会会長で酒造会社の社長から9条のお酒の差し入れがあり、キャラバン隊を励ましてくれました。

#### ◆香南市との懇談

香南市との懇談には清藤市長が対応しました。市長は、「平和行政については特別にこれと言ったものは行っていない。人の成長に合わせた行政、生活行政を重視している。例えば生活保護では、水際対応ではなく、間口を広げて自立支援を行うことで、本人にも行政にもメリットがあるようにと取り組んでいる。そのため福祉事務所の判断能力が大事で人材育成に力を入れている」と話しました。



憲法9条については、「戦力不保持と自衛権との関係で議論する必要があると思う。交戦することを推進するような憲法には反対だが、自衛権は必要だと考える」と述べ、オスプレイの飛行問題では、「日米地位協定では米軍がどこを飛行することもできるようになっている。そのことを踏まえたいうでの行政の対応としては、安全性の確保と情報の提供をお願いすることだ」と話しました。

「尖閣諸島や竹島問題で韓国、中国との関係がギクシクしているが、知恵を出して軍事的解決でない方法を見出すべきとの考えは賛成」「特定秘密法案は拙速なやり方で、反対であり、他の市長とも何ができるか検討してみる」「雇用問題では、工業団地を整備し企業誘致に取り組んでいるが順調に進んでいる」と話しました。

## ◆室戸市との懇談



室戸市との懇談には久保副市長他3人の課長が対応しました。要請に対して副市長は個人的な意見として、「軽々に憲法を改正すべきとは思わない。9条については大事にしたいと考えている」と述べました。

特定秘密法案については、「十分な議論が必要。世論の流れもあると思うので拙速に決めるべきではないのではないか」と述べ、市長と相談して何ができるか検討したいとのことでした。

市の雇用対策としては、「漁業中心の町なので、後継者支援策を実施しているが生計を立てるのは大変

で、農業、林業合わせて取り組んでいる。その中で備長炭の製造に若干の若者が起業しているのが明るい材料。海洋深層水事業、ジオパークなどの観光事業などいろいろ合わせて取り組んでいる」とのことでした。

アベノミクスの効果が地方には出ていないことや将来的には原発ゼロを目指すべきなど、見解を述べました。懇談には、室戸市職労の書記長も同席しました。



かがやけ  
憲法

全国縦断キャラバン2013